

新城設楽地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 開催日時 平成30年11月13日（火） 午後1時45分～午後4時10分
- 2 開催場所 新城設楽総合庁舎 （新城市字石名号20-1）
- 3 参加者数 12名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後2時～午後2時15分
- 2 各市町村の家庭教育支援、子育て支援活動の取組についての発表
午後2時15分～午後2時40分

【新城市】

- 年に17回程度、こども園入園前の親子を対象に「親子ふれあい広場」を実施している。子供の友達づくりと親同士の関係づくりを図るために、最近は3歳未満で入園する子供が増えたり、子供の数が減っていることから、周りに子供がいないという地区があったり、子ども園への送り迎えの時間もまちまちで、親同士のつながりも希薄になっていると感じている。
- ブックスタート活動を行っている。4か月健診の際に絵本を配布している。
- 子育て情報誌を発行している。

【設楽町】

- 子育てサークルの支援を行っている。しかし、高齢化のすさまじさと子供が生まれず、若者がいない、結婚しないというのが現状で苦しい状況である。
- 人口、子供が少ないからこそ、地域みんなが互いのことを知っている。子育てサークルにも全員が参加している。妊娠したところから参加していたため、産む前から交流して、生まれてからも全員が毎週交流している。
- 楽々クッキングという取組もしている。離乳食を作れないという親御さんのために保健師と協力して実施している。人が少ないからこそ、その活動の中で親同士が役割分担し、親同士も鍛えられていく。

【東栄町】

- 子育て支援に関わる取組として、乳児健診の読み聞かせを行っている。家庭教育支援の面では、生涯学習教室等での関わりから子供と地域の方のつながりを図っている。
- 特別な取組はできていないが、今後、保育園、小学校、中学校の連携を図った取組を行っていく予定である。

【豊根村】

- 豊根村の出生数は、昨年度は9人、今年度は2人と少ない状態である。人数が少ないこともあり、地域の中で顔見知りの関係が築かれている。
- 保健師は、妊娠したところから関係が始まり、出産後も毎週木曜日に子育て広場を実施している。そこでは、親同士の交流、離乳食教室、育児講座等を行っている。保育士にも積極的に参加してもらうことで、入園後の関係がスムーズにいくようにしている
- 豊根村は、1園1小学校1中学校であり、同じ敷地内にあるので、連携した取組もできている。

3 グループワーク、報告会 午後2時50分～午後4時



- 親の人間関係を3歳までに築いておくことが大事であると言われていたが、働いている親御さんにとっては難しい。どこでつながりをつくっていくかが課題である。
- SNSでは連絡が中心で意見を交換したりすることはできないのではないかな。
- こども園、学校とも親同士の人間関係を築くという視点で行事等を見直していくことが必要なのではないかな。

- 子供が育ちやすい環境をいかに構築するかが大事である。
- 切れ目のない支援をしていく必要がある。そのためには、行政、組織が今まで以上に連携していく必要がある。どのように連携していくか、具体的に考え、取り組んでいくことが大事になってくる。
- 子供、子育てをする親の数が少ないからといって、手を出し過ぎてはいけなく、どこまで支援をしていくかを見極めていくことも必要である。

4 閉会行事 16時～16時10分